

週末は猛暑日となりました。そんな中、開催された高校野球予選大会を応援に行ってきました。応戦していたチームは、残念ながら二回戦敗退となりましたが、猛暑の中、はつらつと清々しい球児の姿にパワーをたくさんもらいました。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第149号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・「平成26年建設事業関係功労者国土交通大臣表彰」を受章しました！
- ・7/7(月)にH26年度第1回審査証明書交付式を行いました
- ・7/9(水)に新技術設計手法等共同研究委員会を開催しました

■機構の動き

- ・今週は、7/15(火)に第3審査証明委員会を、7/16(水)に管路技術共同研究委員会を、7/17(木)に第5審査証明委員会を開催します！

■Tea Break

- ・イベントに纏わる話 (研究第二部 M.Aさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今週は、「まる子、レッドアロー号に乗って～」 久々のお出かけです♪

■国からの情報

- ・7/11付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。

●「平成26年建設事業関係功労者国土交通大臣表彰」を受章しました！

平成26年7月10日、建設事業関係功労者国土交通大臣表彰の表彰式が国土交通省で行われ、当機構が「多年にわたり、下水道事業関係団体として下水道の新技術に関する調査研究を進め事業の発展に尽力し、公共の福祉の増進に多大の貢献をした。」と

して優良団体表彰を受章しました。当日の表彰式には機構からは石川理事長が出席し、太田国土交通大臣から表彰状と記念品が授与されました。

なお、平成 26 年の国土交通大臣表彰は、優良団体 5 団体及び建設事業関係 10 部門 221 名の皆様が受章されました。栄えあるご受章、おめでとうございます。

機構はこの度の受章を契機として、さらに、下水道新技術に関する研究・開発・普及等の事業を通じ公益活動を広く積極的に展開していくこととしておりますので、皆様には引き続き、ご理解とご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

●7/7(月)に H26 年度第 1 回審査証明書交付式を行いました

平成 26 年 7 月 7 日(月)、日本下水道新技術機構にて、「SWライナー工法(下水道管きよの更生工法-製管工法-)」(更生・修繕技術)にたいする、審査証明書交付式を執り行いました。

SWライナー工法は、平成 25 年 5 月に「平成 25 年度 建設技術審査証明事業」の新規技術として依頼を受け、平成 26 年 7 月 1 日に「平成 26 年度 第 1 回審査証明委員会」にて答申された技術です。

依頼者：

岡三リビック(株)、日東産業(株)、(株)シーシーエス、(株)イーテックサーブ、(有)横島

●7/9(水)に新技術設計手法等共同研究委員会を開催しました

7 月 9 日に平成 26 年度第一回新技術設計手法等共同研究委員会が開催され、「下水道処理場等における効率的な管理・運営のための情報共有に関する共同研究」についての審議が行われました。

本研究は、(株)東芝、(株)日立製作所、三菱電機(株)、(株)明電舎、メタウォーター(株)と当機構の 6 者で実施している共同研究で、処理場等の情報を統一管理することで現状を見える化し、その情報を活用することで下水道の管理・運営の効率化を図る手法について検討を行います。新規案件のため、本委員会では、研究の目的や対象、方向性について説明を行い、情報の共有化手法や収集した情報の活用方法などについて活発な議論を行いました。今後は、技術委員会にて最終審議される予定です。

---

。○。

機構の動き (機構の行事予定です)

。○。

●平成 26 年 7 月 15 日(火) 13:30~17:40

行 事：第 3 審査証明委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

内 容：26 年度新規申請案件 2 件、変更案件 2 件、更新案件 4 件の審議

●平成 26 年 7 月 16 日(水)

行 事：第 1 回 管路技術共同研究委員会

場 所：機構 8 階 中会議室

内 容：(1)修繕工法による管きよ長寿命化に関する共同研究(終了)

- (2) 下水道用マンホール改築・修繕工法に関する共同研究（継続）
- (3) 下水道管路施設へのフラッシュゲートの適用に関する共同研究（新規）

●平成 26 年 7 月 17 日(木)13:00～17:30

行 事：第 5 審査証明委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

内 容：26 年度新規申請案件 3 件、変更案件 2 件、更新案件 3 件の審議

○平成 26 年 7 月 22 日(火)～25 日(金)

日本発！暮らしを支える底力「下水道展'14 大阪」へ出展！

下水道機構テーマ：

『技術の橋渡し』 ～人・技術・情報をつなぐ“かけはし”に！ “

場 所：インテックス大阪 4 号館(小間番号 4-030)

※出展の詳細はこちら →

<http://www.jiwet.or.jp/%e8%a1%8c%e3%81%93%e3%81%86%e3%82%88%ef%bc%81%e4%b8%8b%e6%b0%b4%e9%81%93%e5%b1%9514%e5%a4%a7%e9%98%aa>

○平成 26 年 7 月 29 日(火)13:30～17:00

行 事：第 2 審査証明委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

内 容：26 年度新規申請案件 2 件、変更案件 4 件、更新案件 5 件の審議

○平成 26 年 7 月 30 日(水)15:00～17:00

行 事：第 1 回技術委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

内 容：(1) 修繕工法による管きよ長寿命化に関する共同研究

(2) 下水道用マンホール改築・修繕工法に関する共同研究

○平成 26 年 7 月 31 日(木)13:00～17:30

行 事：第 4 審査証明委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

内 容：26 年度新規申請案件 2 件、変更案件 3 件、更新案件 4 件の審議

\_\_\_\_\_。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

○○。\_\_\_\_\_

●イベントに纏わる話 (研究第二部 M.A さんからの投稿です)

下水道業界でイベントと言えば、真っ先にもうすぐ大阪にて開催される下水道展が思い出されます。東京では本当に多くのイベントが開催されており、最先端テクノロジーの展示会、音楽イベント、プロレスリング・格闘技、果ては模型フェス等、大きなアリーナや会場から小規模な箱まで様々です。大きいステージは迫力があり、小さ



件発生しています（7月11日11時現在）。詳細は、下記HPをご覧ください。  
→国土交通省災害・防災情報 ([http://www.mlit.go.jp/saigai/saigai\\_140707.html](http://www.mlit.go.jp/saigai/saigai_140707.html))

7月8日付けで、塩路下水道部長が就任しましたので、ご挨拶申し上げます。

『7月8日付けで国土交通省下水道部長に就任しました塩路です。前任の岡久部長の体制でとりまとめられた新下水道ビジョン（注：来週、国土交通省下水道部のHPで公表予定）をしっかりと継承し、具体的の実現させるべく下水道部一同尽力して参りますので関係各位のご支援の程よろしくお願い申し上げます。「開かれた部長室」がモットーですので、皆様どうぞお気軽にお越し下さい。』

~~~~~

「日本発！暮らしを支える底力 下水道展’14大阪」

7/22～7/25 於インテックス大阪 <http://www.gesuidouten.jp/>

~~~~~

★★★★★ ラインナップ ☆☆☆☆☆

- 募集締切迫る！（7月18日まで）「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」  
【国土交通省】
- 《下水道展開連行事》「下水道まるごと e-ラーニング」デモ版の体験について  
【(一財)下水道事業支援センター】
- 第7回いい川・いい川づくりワークショップ(9/20・21開催)参加募集について  
【国土交通省】
- 「下水道新技術セミナー」を開催します（8/22 東京、8/29 東京）  
【(公財)日本下水道新技術機構】
- 第11回リン資源リサイクルシンポジウム『農地土壌を含む自然生態系における持続的なリン資源循環に向けて』のご案内【リン資源リサイクル推進協議会事務局】

※国土交通省下水道部関係人事

7/8 辞職 岡久宏史（下水道部長）

下水道部長 塩路勝久（日本下水道事業団理事）

参考：<http://www.mlit.go.jp/common/001047138.pdf>

=====

●募集締切迫る！（7月18日まで）「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」  
【国土交通省】

現在、国土交通省では、平成26年度（第7回）「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」を募集しています。下水道に関連した優れた取組みを表彰しており、今年度より部門構成の刷新及びグランプリ（最優秀賞）の創設を行っています。募集締切まで約1週間ですので、皆様からのご応募お待ちしております。

詳細は、下記HPをご覧ください。

→（報道発表）平成26年度（第7回）「国土交通大臣賞（循環のみち下水道

賞)」の募集について

[http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13\\_hh\\_000247.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000247.html)

→循環のみち下水道賞ホームページ（応募要領、応募調書、過去の受賞団体等）

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd\\_sewerage\\_tk\\_000085.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000085.html)

●《下水道展関連行事》「下水道まるごと e-ラーニング」デモ版の体験について  
【(一財)下水道事業支援センター】

一般財団法人下水道事業支援センターは、開発中のインターネット教育システム「下水道まるごと e-ラーニング」の試験運用のためのデモ版を大阪市で開催される下水道展で公開します。「学ぼう」、「探そう」、「知ろう」、「つながろう」のカテゴリを用意しています。公開日は、7月22日（火）23日（水）の2日間、公開場所は、インテックス大阪2号館の日本下水道協会ブースの一角です。係員の案内で実際にパソコンを操作し、簡単なe-ラーニングを体験していただく予定です。是非お立ち寄りください。

お問い合わせ：下水道事業支援センター 河井

TEL：03-6803-2700、E-MAIL：[kawai@sbmc.or.jp](mailto:kawai@sbmc.or.jp)

●第7回いい川・いい川づくりワークショップ(9/20・21開催)参加募集について  
【国土交通省】

9月20日(土)・21日(日)に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催される「第7回いい川・いい川づくりワークショップ(主催：いい川・いい川づくり実行委員会)」の参加募集が始まりましたのでお知らせいたします。募集要項、応募申込書は下記HPからダウンロードできます。これこそ“いい川”・“いい川づくり”という事例や事業、思いを持ち寄り、その目的、取り組みを発表、議論することにより、少しでも“いい川・いい川づくり”のビジョン、イメージの共有につながれば、やがては日本中に個性豊かな愛着の持てる川や水辺が出現するとの思いから、この大会は開催されています。過去に下水道分野も表彰されておりますので、奮ってご応募ください。詳細は、下記HPをご覧ください。

→<http://www.mizukan.or.jp/kawanohi/kawanohi.htm>

●「下水道新技術セミナー」を開催します(8/22 東京、8/29 大阪)

【(公財)日本下水道新技術機構】

「既存施設を活用した高度処理の推進について」をテーマに 第59回下水道新技術セミナーを8月22日(金)13:00~16:45に東京都港区発明会館で、8月29日(金)13:00~16:45に大阪市西区大阪科学技術センターで、開催します。東京都市大学長岡教授(東京会場)、京都大学大学院田中教授(大阪会場)による「高度処理をとりまく最近の技術的動向」の基調講演、国土交通省下水道部からは、白崎流域下水道計画調整官による「高度処理の現状と今後のあり方」の特別講演を頂きます。また、東京都、久留米市、福岡市、下水道機構からは高度処理に関するそれぞれの取り組みについてご紹介いたします。なお、土木学会の継続教育(CPD)プログラムにも認定されていますのでご活用下さい。申し込みは、当機構ホームページからWeb申し込みをお願いします。

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

●第11回リン資源リサイクルシンポジウム『農地土壌を含む自然生態系における持続的なリン資源循環に向けて』のご案内【リン資源リサイクル推進協議会事務局】

(1) 開催日時

平成26年7月24日(木) シンポジウム : 13:00~16:30

(意見交換・交流会 : 17:00~19:00)

(2) 開催場所: インテックス大阪 国際会議ホール (<http://www.intex-osaka.com/>)

シンポジウム : 国際会議ホール

意見交換・交流会 : ニューミュンヘン

(インテックス大阪3号館と4号館の間 2F)

(3) 参加費: シンポジウム は会員 - 無料、一般 - 4,000 円

意見交換・交流会は会員と一般ともに4,000 円

(参加費は、当日会場にて頂戴いたします。)

(4) 内容

①開会 (13:00~13:05) リン資源リサイクル推進協議会 会長

大阪大学大学院 工学研究科 生命先端工学専攻 教授 大竹 久夫

②平成26年度 リン資源リサイクル推進功績者表彰 (13:05~13:10)

③来賓挨拶 (13:10~13:25)

(予定) 国土交通省、農林水産省、経済産業省、環境省

④講演 (予定)

1) 「P use in crop-soil system for sustainable crop production in China」

(英語による講演)

「中国における持続的な穀物生産を実現するための土壌-作物システムにおけるリン利用」(13:15~13:45)

中国農業大学 教授 申 建波 氏 (Prof. Jianbo Shen)

2) 「生物多様性が駆動する栄養循環と流域圏社会 - 生態システムの健全性」

(仮題) (13:45~14:15)

京大大学生態学研究センター 准教授 奥田 昇 氏

3) 「未利用資源を原料とした肥料の有効利用について」(仮題) (14:15~14:45)

農林水産省 消費・安全局 農産安全管理課

4) 「神戸ハーベストプロジェクト[B-DASH プロジェクト]について」(仮題)

(14:45~15:15) 水ing 株式会社

— 休憩と意見交換・交流 20 分間 (15:15~15:35) —

⑤総合討論 (15:35~16:25)

「農地土壌を含む自然生態系における持続的なリン資源循環に向けて」

コーディネーター: 大竹会長

⑥閉会 (16:25~16:30) リン資源リサイクル推進協議会 副会長

日本肥料アンモニア協会 理事 事務局長 成田 義貞

(5) 意見交換・交流会 (17:00~19:00)

(6) 出欠について:

参加申込用紙に所定事項をご記入の上、平成26年7月22日(火)までに、リン

資源リサイクル推進協議会 事務局（一般社団法人 日本有機資源協会 内）あてに FAX あるいは E-mail にてお送り下さい。参加費につきましては、当日会場にて頂戴いたします。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

<開催案内>

[http://www.jora.jp/rinji/rinsigen/pdf/140610\\_11th\\_PRPCsymposium.pdf](http://www.jora.jp/rinji/rinsigen/pdf/140610_11th_PRPCsymposium.pdf)

<参加申込書>

[http://www.jora.jp/rinji/rinsigen/pdf/140610\\_11th\\_PRPCsymposium.doc](http://www.jora.jp/rinji/rinsigen/pdf/140610_11th_PRPCsymposium.doc)

=====

◆60棟超が浸水・損壊、北部九州で大雨<7/4 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/kyushu/news/20140704-0YS1T50000.html>

◆大雨：広島で冠水や床下浸水 中四国、近畿でも警戒を<7/7 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/select/news/20140708k0000m040095000c.html>

◆大雨、東日本でも猛威 土砂崩れや浸水、台風8号が影響<7/10 朝日新聞>

<http://www.asahi.com/articles/ASG796WRTG79UTIL04F.html>

◆流さず向き合う うんちとトイレの話<7/8 朝日新聞>

<http://www.asahi.com/articles/DA3S11229414.html>

◆三菱商事と三菱重工がドバイ水事業会社の筆頭株主に 中東で上下水道や淡水化など<7/8 MSN 産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/140708/biz14070818290013-n1.htm>

◆浸水対策のポンプ場完成 松山・宮前地区<7/6 愛媛新聞>

<http://www.ehime-np.co.jp/news/local/20140706/news20140706004.html>

◆海の家“排水”の陣 片瀬東浜に下水道整備 県内初<7/7 神奈川新聞>

[http://www.kanaloco.jp/article/74108/cms\\_id/89956](http://www.kanaloco.jp/article/74108/cms_id/89956)

◆水あふれる「柏原排特」 抜本対策へ検討委 丹波市が近く設置<7/10 丹波新聞>

<http://tanba.jp/modules/news/index.php?page=article&storyid=2018>

◆豪雨、読谷で最多96ミリ 浸水122件<7/10 琉球新報>

<http://ryukyushimpo.jp/news/storyid-228300-storytopic-1.html>

---

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)



○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140410/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140410/seikai6.pdf>

